

第4回 日本奏楽コンクール

THE 4TH NIHON SOGAKU COMPETITION

JULY - AUGUST 2022

主催：日本奏楽コンクール審査委員会
後援：一般社団法人 日本弦楽指導者協会
協賛：東京ピアノコンクール

部門及びカテゴリー

	幼児 (未就学児)	小学低学年 (小学1～2年)	小学中学年 (小学3～4年)	小学高学年 (小学5～6年)	中学	高校	大学	一般A (年齢制限なし)	一般B (35歳以上)	一般C (50歳以上)
ピアノ部門	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ピアノ協奏曲部門	年齢不問(各年齢において審査される)									
声楽部門					●	●	●	●	●	●
弦楽器部門	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
管楽器部門		●	●	●	●	●	●	●	●	●
アンサンブル部門	年齢不問(各年齢において審査される) 連弾、2台ピアノ、二重奏、室内楽									
アマチュア部門	伴奏者を除き、18歳以上(上限なし)・音大等でその専攻を専門としていない者									

※ピアノ協奏曲部門はピアノ伴奏(各自用意)とし、会場審査では2台ピアノ(横並び)審査とする
※弦楽器部門の対象は、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギターなど
※管楽器部門の対象は、リコーダー、ピッコロ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、オカリナなど
※アマチュア部門の対象は、ピアノ、弦楽器、管楽器、声楽など
※アンサンブル部門の二重奏や室内楽は、弦楽・管楽・打楽・声楽・ピアノ等による重奏など自由な編成でよい
※国籍・年齢は問わず、年齢指定がある場合の年齢は2022年8月1日時点の年齢とする
※大学卒業生や大学院生は「一般」に含まれる(「一般A」は年齢制限なし、「一般B」は35歳以上、「一般C」は50歳以上)
※高校を今年卒業した浪人生は、「大学」または「一般A」を参加カテゴリーとする

申込期間と開催日程・会場

申込／予備審査(音源書類審査)

HPサイドバー「申込／予備審査WEB申込」より申込可

2022年
4月15日(金)～7月10日(日) 必着

- コンクール全参加者は、期日までにコンクールHPサイドバー「申込／予備審査WEB申込」より必要事項を入力し申込送信して下さい(自動返信あり)
- 締切間際の申込は、通過された場合に予選申込まで短期間となるため、早めの申込をお願い致します
- 予備審査の音源は参加者本人の演奏による動画(音声のみの動画も可)
- 動画はYouTubeに限定公開か公開でアップロードされたもの(既存のものでも可)とし、共有URLを取得して下さい
- 申込受付はWEB申込と予備審査料振込が確認次第受付とし、予備審査の結果・参加者番号等は申込から10日以内に順次メールにて通知予定
- 予備審査免除制度(下記参照)、対象者は音源の提出と予備審査料が不要です。ただし予選申込に必要な参加者番号取得のため4/15～7/10に「申込／予備審査WEB申込」より申込送信して下さい
- ※結果発表まではYouTubeのURL動画を削除しないようお願い致します
- ※事務局は動画アップロード方法等についてのサポートを行っておりません

予備審査免除対象者

- 2020年延期された第3回日本奏楽コンクールの予備審査に合格した者
- 第1回以降の日本奏楽コンクール本選入賞者(※参照)
- 第11回以降の東京ピアノコンクール入賞者(※参照)

※入選者(本選に出場し入賞されなかった方)は含まれず、同専攻・同楽器に限る
※アンサンブル部門はグループ内の1人以上が入賞していること

予選(YouTube限定公開による) 非公開映像審査

HPサイドバー「予選WEB申込」より申込可

2022年
4月27日(水)～7月22日(金) 必着

- 申込／予備審査を通過、または予備審査を免除され予選に参加される方は、予選申込の期日までにコンクールHPサイドバー「予選WEB申込」より必要事項を入力送信して下さい(自動返信あり)
- 予選の演奏映像は、第4回日本奏楽コンクール予選のために2022年4月以降にスマートフォン等で参加者本人の演奏を録画されたものとする
- 映像はYouTube「限定公開」でアップロードの上、「タイトル」には参加者番号、「説明」には曲目を明記し共有URLを取得して下さい
- 使用する楽器は、電子ピアノなどの電子楽器を不可とする
- 服装は自由で審査の対象外とし、演奏前後のお評価は任意とする
- 複数曲の場合は通して録画し、映像を繋ぎ合わせることは不可、音の加工や修正のない無編集のものを提出のこと
- 映像の撮影場所や画質は問わないが、演奏中は演奏者の顔や手元がはっきりと確認でき膝上または全身が映っていること
- 予選の結果・通過者の本選演奏時間等詳細は、8月上旬以降にHPにて参加者番号とともに発表予定
- ※予備審査の動画が上記の予選規定を満たす場合は、予備審査と予選が同じ動画でも可
- ※予選では審査委員による講評あり(8月上旬以降にメール送付予定)
- ※結果発表までYouTubeのURL動画を削除しないようお願い致します

本選(会場による対面審査)

本選参加料振込による申込(各期日は8月上旬HP発表)

2022年
8月14日(日) 東京都品川区立五反田文化センター 音楽ホール
▶管楽器部門
▶アンサンブル部門(二重奏・室内楽)
▶アマチュア(管楽器等)

2022年
8月20日(土) 東京都品川区立五反田文化センター 音楽ホール
▶弦楽器部門
▶アンサンブル部門(二重奏・室内楽)
▶声楽部門
▶アマチュア部門(弦楽器・声楽等)

2022年
8月28日(日) 東京都品川区立五反田文化センター 音楽ホール
▶ピアノ部門
▶アンサンブル部門(連弾・2台ピアノ)
▶ピアノ協奏曲部門
▶アマチュア部門(ピアノ等)

※参加者の氏名は公表せず。本選最終結果での入賞者氏名を公表する
※ピアノの足台・補助ペダルが必要な場合、本人または関係者が素早く設置(各自持参または会場貸出…ヤマハHP700)
※各日の本選審査終了後、同会場にて当日の結果発表・授賞式を行う
※8/14(日)に第3回準グランプリ受賞者演奏会／森山ひかる(オーボエ)、8/20(土)に第3回グランプリ受賞者演奏会／大久保堀名(ヴァイオリン)が各当日の結果発表・授賞式前に行われる
※開催日の国内外の新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催内容が映像審査などへ変更されることがある

表彰及び発表

▶**全部門よりグランプリ(賞金200,000円、賞状、桶、翌年度の演奏会出場権等 授与)**

▶**各部門(各カテゴリー)：第1位、第2位、第3位(賞状、第3位以上に入賞桶 授与)、特別賞(賞状)、優秀伴奏者賞(賞状)、入選 他**

▶**音楽教育者賞(グランプリ2名以上の入賞者に指導している先生に贈られ、アンサンブル部門は1組で1名とする 証書贈呈)**

※本選入賞者は本選当日審査後の結果発表・授賞式にて発表され、9月下旬までにホームページに発表予定

参加曲目

▶**任意の一曲または複数曲の自由曲(予備審査、予選、本選が同一曲、または異なる作品でも可)**

※演奏作品は、数分(幼児・小学は1分程度～)から最大10分前後程度までを目安とする
※会場審査では途中で演奏を打ち切る場合があるが審査には影響なく、演奏曲が当日の審査時間より長い短いは審査に影響ない
※楽章・組曲・変奏曲などのカットを認め、予選・本選を通して繰返しはしないが(ダ・カーポはすること)、幼児・小学生の短い作品の繰返しは任意とする
※チューニングの必要な楽器は前もって行い、伴奏者の前奏、間奏が長い作品はできるだけその部分をカットすること
※無伴奏の作品でも可。伴奏者は各自用意し、ピアノ協奏曲部門(予選)はピアノ伴奏(各自用意)とする
※ピアノ協奏曲部門の予備審査の音源は、ピアノ独奏作品でも可とする



日本奏楽コンクール

Nihon Sogaku Competition

沿革・開催年

第1回:2018年(平成三十年)
第2回:2019年(令和元年)
第3回:2020年(令和二年)※開催延期
第4回:2021年(令和三年)
第4回:2022年(令和四年)

趣 旨

日本から音楽文化の振興と普及に寄与し、
幅広い年齢層から優れた才能の発掘と育成を図ることを目的とする。

コンクール概要

日本奏楽コンクールは、平成三十年度(2018年度)に創設され、以後毎年一回開催される音楽コンクールです。
国内外のあらゆる段階の音楽学習者や演奏活動を行う音楽家に、日頃の研鑽の発表や審査委員からの講評、演奏研究の場を提供することで、個々のステージ経験や演奏技術、音楽的感性等の向上のみならず、日本から音楽文化の振興と普及に寄与することを目的としています。
任意の自由曲を参加曲の中心に据える特色を持ち、幅広い年齢層を対象に、ピアノ部門、ピアノ協奏曲部門、声楽部門、弦楽器部門、管楽器部門、アンサンブル部門、アマチュア部門から構成されています。
日本や海外の音楽家による審査や講評を経て、本選審査会は首都東京において開催されます。



申込方法

申込／予備審査

※予備審査免除対象者も含め、全ての参加者はここから申込下さい

- 参加者本人の演奏による動画(音声のみの動画も可)をYouTubeに限定公開か公開でアップロードしたもの(既存のものでも可)の共有URLを取得(予備審査免除者は不要)
- 指定口座に予備審査参加料(免除者は不要)をご本人名義でお振込(念のため振込明細票を保管して下さい)
- WEB申込前に受信するメールで@nihon-sogaku.comの受信設定を必ず行して下さい(重要な連絡が行えない場合があります)
- HPサイドバー「申込／予備審査WEB申込」より必要事項を記入、予備審査参加料(免除者は不要)振込済日を入力、YouTube共有URLを貼付の上、締切日までに送信(自動返信あり)

※予備審査免除対象者やその他詳細は、「申込期間と開催日程・会場」の「申込／予備審査」欄を参照
※直接事務局にご来場はお控え下さい

予選

※申込／予備審査を通過または免除され参加者番号をお持ちの方

- 当コンクール予選のために2022年4月以降に参加者本人の演奏を録画した映像(※)をYouTubeに限定公開(※)し共有URLを取得
- 指定口座に予選参加料をご本人名義でお振込
- HPサイドバー「予選WEB申込」より参加者番号ほか必要事項を記入、予選参加料振込済日を入力、YouTube共有URLを貼付の上、締切日までに送信(自動返信あり)

※①の映像や設定記入内容の詳細は「申込期間と開催日程・会場」の予選欄を参照

本選

※8月上旬以降HP発表にて予選を通過された方

- HPで予選結果発表時に指定された期日までに本選参加料をご本人名義でお振込(期日までに振込が確認できない場合は受付不可となります)
- 本選当日は、HPで発表された演奏予定時間に余裕をもち、審査会場コンクール受付にお越し下さい

※開催月の国内外の新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催内容が映像審査などへ変更されることがある

参加料支払方法

参加料振込先

※振込時の金額の間違いにご注意下さい

みずほ銀行 中井支店 普通 1152810
日本奏楽コンクール実行委員会

参加料

カテゴリー	予 備 審 査	予 選	本 選
幼児・小学低学年	8,850円	10,800円	15,000円
小学中学年・小学高学年		11,800円	16,000円
中 学		12,800円	17,000円
高 校		13,800円	18,000円
大 学		14,800円	19,000円
一般A・一般B・一般C		15,800円	20,000円
ピアノ協奏曲		18,800円	23,000円
アンサンブル(1組)		23,800円	28,000円
アマチュア		16,800円	20,000円

歴代審査委員(五十音順・敬称略)

- ▶ カンディンスキー美帆子(イギリス・ノースウェストロンドンシンフォニー元楽団員)
- ▶ 神代修(大阪教育大学教授、洗足学園音楽大学客員教授)
- ▶ 佐藤大祐(洗足学園音楽大学教授)
- ▶ 篠崎功子(桐朋学園大学特命教授、東京音楽大学客員教授)
- ▶ シモン・プリンツ(リンツ・ブルックナー管弦楽団ヴィオラ奏者、オーストリア州立音楽学校専任講師)
- ▶ 進藤郁子(国立音楽大学教授、愛知県立芸術大学非常勤講師)
- ▶ 田口宗明(声楽家、武蔵野音楽大学元教授、日本マラー協会理事)
- ▶ 中田留美子(ウィーン在住・声楽家、二期会会員)
- ▶ 服部吉之(洗足学園音楽大学客員教授)
- ▶ 広瀬正憲(作曲家、元目白大学音楽教育講師、日本歌曲振興会の会理事)
- ▶ ブルックス・信雄・トーン(愛知県立芸術大学准教授)
- ▶ マインハルト・プリンツ(聖パウルス音楽総監督、ウィーン国立音楽大学教授)
- ▶ 三瀬あけみ(元桐朋学園大学講師)
- ▶ 三瀬和朗(作曲家、元東京藝術大学講師、桐朋学園大学特命教授)
- ▶ ミハイル・カンディンスキー(上野学園大学客員教授、洗足学園音楽大学・大学院非常勤講師)
- ▶ レン・シャオガン(声楽家、北京中国音楽学院元客員講師、洗足学園音楽大学講師、目白大学講師)

他 ※開催年や日程・部門により異なる

◆その他

- ☐ピアノ伴奏者の譜めくりが必要な場合は各自で用意
- ☐やむを得ず棄権する場合は、必ず速やかに所定の緊急連絡先に連絡すること
- ☐申込み後のキャンセルおよび棄権の場合の払い戻しは行いません
- ☐参加に関わる交通費、宿泊費、振込手数料等の費用は参加者の負担になります
- ☐電話やメールでの審査結果のお問い合わせは応じられません